トーンモバイル独自の安心・安全機能「TONEカメラ」と「Oneメッセンジャー」



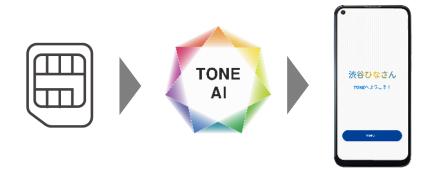
トーンモバイルの特徴





子供もシニアも安心して使える機能を 7年間変わらず月額1,000円で提供

3月に基本プランをバージョンアップし、 090と050の2つの電話番号を標準搭載。 ますますシンプルで分かりやすいプランに。



AIが20秒で見守り設定を完了する 「TONE Zen」の提供開始

SIM情報を元にAIが端末を最適設定し、 お子様の見守り画面(Teen)に自動設定。 大人の場合も年齢に最適なUIをAIが提案。



MVNOながら充実のサポート体制 リアル店舗も過去最大、且つ拡大中

5種類のサポート環境を提供中。 (電話、遠隔、置くだけ、家族間、店頭) リアル店舗は4月に100店を超えて拡大中。

自画撮り被害対策機能「TONEカメラ」の開発経緯





京都府警察本部HPより引用



警察庁HPより引用



https://k-tai.watch.impress.co.jp/docs/news/1235342.html



増加を受け、AIを活用した対策機能の検討を開始。

自画撮り被害という社会問題の

総務省、警察庁、京都府警、 埼玉県警等との意見交換も実施。

2020年2月

2019年頃

AIで不適切画像を判別し、端末に保存させない「TONEカメラ」 アプリを搭載したAndroid端末 「TONE e20」の提供を開始。

2021年2月

トーンモバイルのiPhone用SIM 「TONE SIM (for iPhone)」に、 iPhone標準カメラで動作する 「TONEカメラ」の機能を搭載。

「TONEカメラ」の機能概要



TONE端末(Android)の場合

自動的に、端末本体にも クラウドにも保存されない。

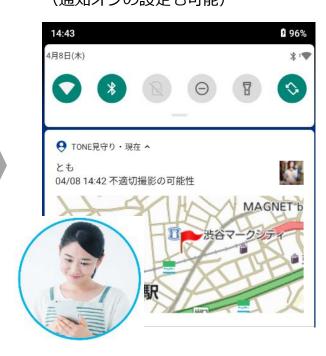


iPhoneの場合

削除を促すメッセージが表示され 「削除」を押すと、端末本体にも クラウドにも保存されない。

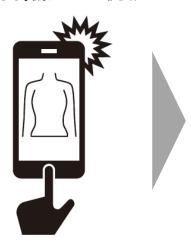


不適切な写真を削除してもしなくても 保護者の見守りアプリ、または メールに通知が送られる。 (通知オフの設定も可能)



「保護者への通知機能」 = 自画撮り行為の抑止力

不適切な撮影をAIが検知



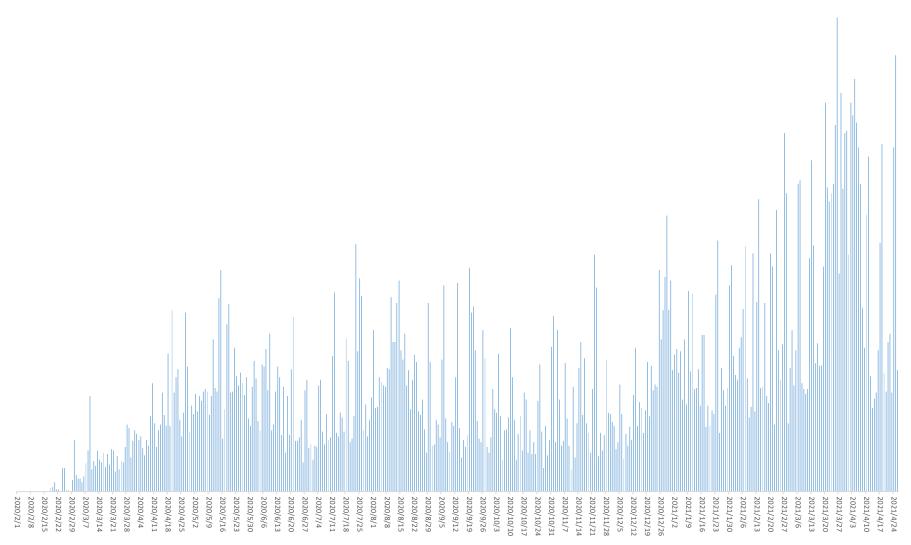
撮影に使用するアプリ

Android…TONEカメラ (標準カメラはTONEの制限 機能で使用不可にできる)

iPhone…標準カメラ

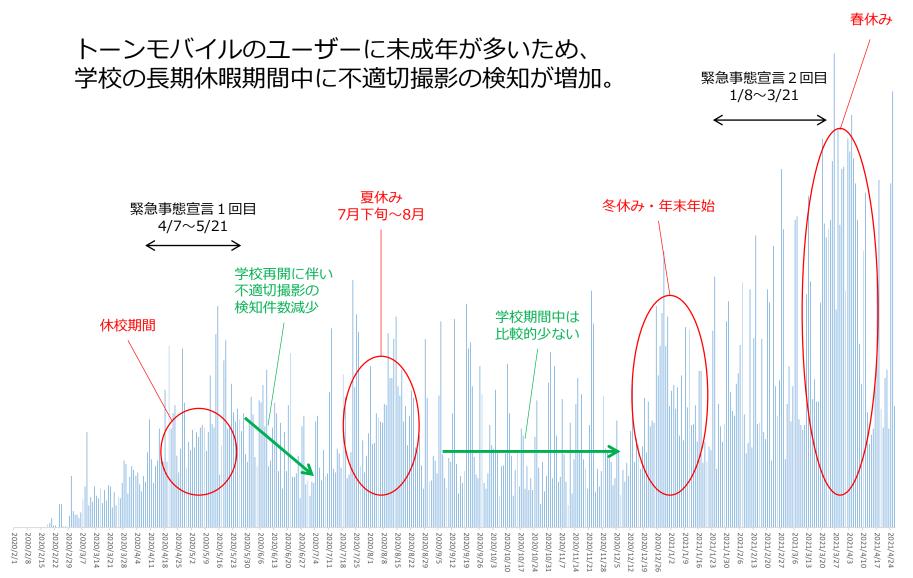
「TONEカメラ」による不適切動画撮影の検知数





「TONEカメラ」による不適切動画撮影の検知数

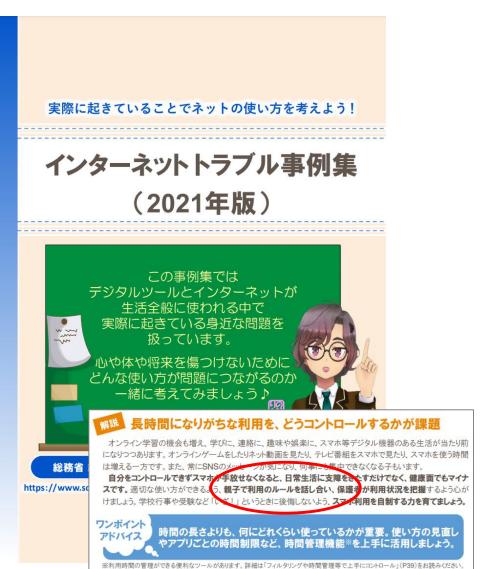




「Oneメッセンジャー」の開発背景



インターネットやスマホの安全利用には、総務省、文部科学省等の啓発資料においても 「家庭での話し合い」が重要だと言われているが、それできている家庭はまだ多くないのが実態。





AIが家族のコミュニケーションと安全を助ける世界初のメッセンジャー



AIが起点となりスマホ利用の 会話が家族の間で生まれる。



スマホ利用だけでなく、 新常態での生活の安全にも対応。



AIに話しかけるだけで、 お子様の利用状況を確認できる。

